

# 「働き方改革と人材育成の両立に向けて」

～技術力・マネジメント力を伝承していくためのこれからのOJTとは～



2024年 10月 11日

会社名 株式会社竹中工務店 氏名 武田 力

# 1. はじめに

ここ数年、「現場力」の衰えを強く感じる。  
労働力が不足する中、働き方改革による時間規制も重なり、抜本的な生産性を向上させる事が、業界として必要である。  
DXやICT技術を最大限活用する一方、最前線で活躍する職員に、仕事の「やりがい」や「楽しさ」を感じてもらう事が何より重要であると感じる。

今回は、現場の最前線で活躍するすべての職員が、「やりがい」や「楽しさ」を感じることの手助けになるであろう「仕組みづくり」について、発表させていただく。

今回発表する「仕組み」は、特別な準備が必要なく、**だれでも、いつでも**、取り組むことが出来る方法である。

## 2. 自己紹介

所属会社：竹中工務店北海道支店

1995年入社

1995年～96年 東京本店

2001年～03年 本社技術研究所

2008年～08年 東京本店作業所

2015年～ 作業所長

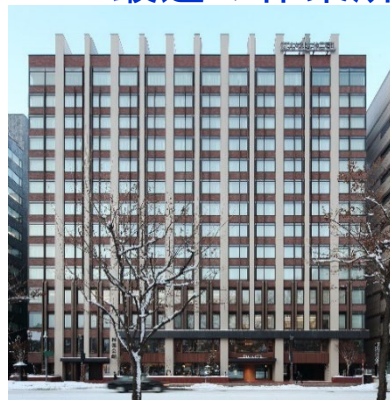
(※上記記載以外は、北海道支店作業所従事)



### 最近の作業所長としての作品の一例



2019年オフィスビル



2020年オフィス・ホテル



2023年オフィス



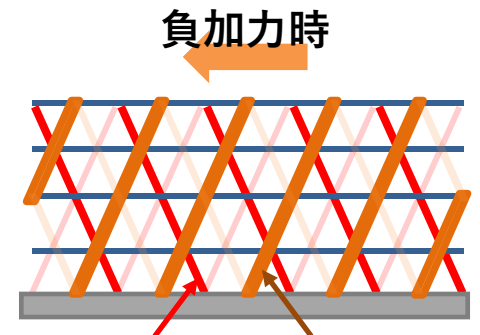
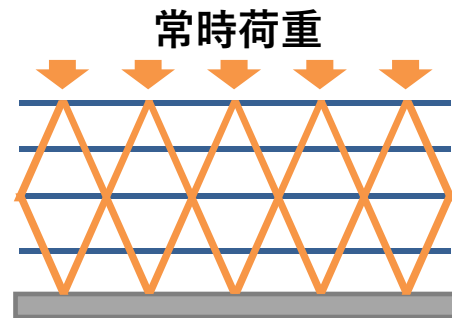
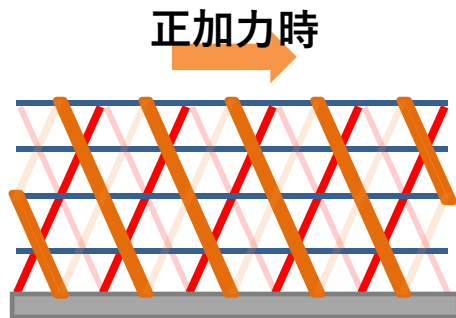
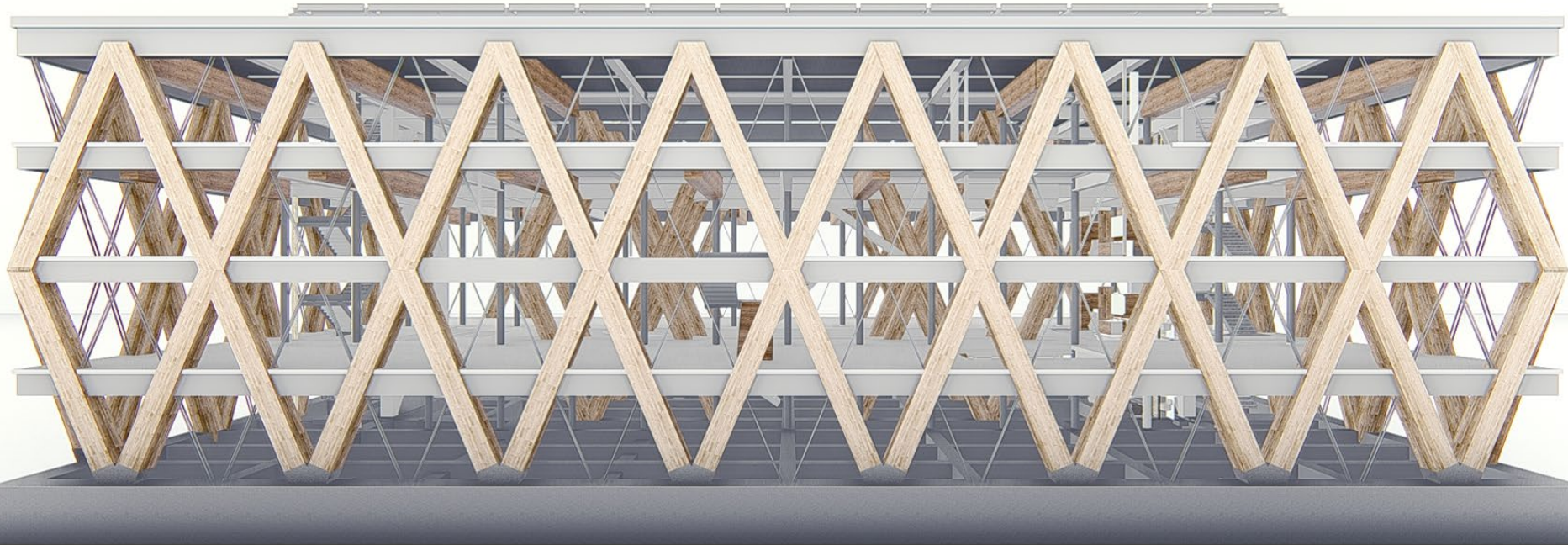
2024年オフィス施工中

### 3. 現在携わっているプロジェクトの紹介

木斜め柱（燃エンウッド）とテンション  
ロッドを組み合わせた木造外殻構造

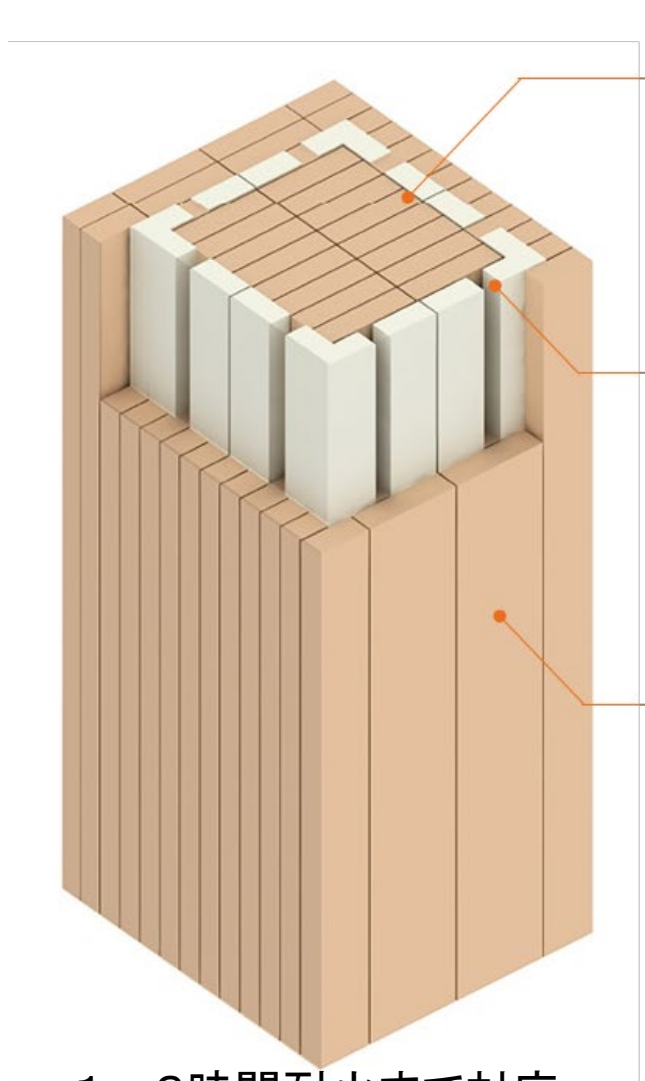


# 4. 木造柱(一部梁)を有するハイブリット構造



引張 圧縮

## 5. 燃エンウッドとは?? (竹中工務店の登録商標)



**荷重支持部** (集成材)  
建物の荷重を支える構造体

**燃え止まり層**  
(モルタル・せっこう系材料)  
表面炭化の停止層となり  
モルタル・せっこう系材料が  
火災熱を吸収

**燃え代層** (集成材等)  
火災時に炭化し、遮熱層  
を形成

**仕様**  
適用樹種：カラムツ・トドマツ (道産材)  
耐火仕様：1 時間

1～3時間耐火まで対応

## 6. 本題に入ります

ここからが、本日のメインテーマです。

# 「働き方改革と人財育成の両立に向けて」

～技術力・マネジメント力を伝承していくためのこれからのOJTとは～

## 7. 若手技術者の現状

仕事を楽しくないと感じている若手が多い(ヒアリング等)



理由としては、

- ・毎日が**職人の追い回し**
- ・品質記録の整備や**書類作成**ばかりやっている
- ・社内確認が多く、**仕事を任されている気がしない**
- ・建築主の**顔が見えない**(接点が無い)

本来の建設業は、多くのステークホルダーと協業し、何も無いところに1品生産の建造物を建てるというダイナミックで社会貢献性が高い、**ものづくりの魅力にあふれた仕事**であるはずだが。。。。。。



## 8. 自分の過去の経験を振り返ってみると

20代後半、規模は小さかったが、1人現場でなんでもした  
建築主と距離が近く、直接やり取りしながら、多くを学んだ

やりがいと面白さを感じた様々な要因の中で、

①建築主とのやり取りを通して、ものづくりを体感する

②図面の理解を通して、現場を仕切る

経験が何物にも代えがたいことに感じた。

誰にでもこの体験を経験する「**仕組み**」を作れないか？

## 8. 仕組みづくり

① 建築主とのやり取りを通して、  
ものづくりを体感する

ための仕組みを作る

## 9. 現状分析と課題

建築主とコミュニケーションを取る機会としては、主に定例会議等が考えられるが、中規模以上の場合、参画するのは所長や次席である(参加したくてもできない)



若手側から建築主にかかわりに行く能動的な仕組みが必要



知識や経験が浅い若手発信で、建築主とコミュのケーションを取るには……



毎日見ている作業・品質・安全・検査・行事などの建設のプロセスを知ってもらうことから始めるとできるのでは？

## 10. 「建設の記録」の発刊を通して

そこで、

# 「建設の記録の発刊」

の仕組みを思いつく

## 11. 建設の記録とは？

- ・各月毎に担当者を決め、建設の記録をメールで配信  
(週1～2回程度)
- ・配信する内容は、原則  
配信者の裁量にゆだねる  
個性を重視  
(建設プロセスの作業工程・品質確保・製品検査・巡回・イベント等々)
- ・配信先は、建築主・当社  
役員・幹部・社内PJ  
関係者すべて

北海道株式会社  
部長 様  
様 様

実際にお客様に送ったメール

例

お世話になっております。  
竹中工務店のです。

建設の記録第47回を配信させていただきます。  
8/9 に中国の東莞ヘピロティ周りの複層ガラスの製品検査に行ってきたので、その記録となります。

内容に関してご不明点等がございましたらお気軽にご連絡ください。  
引き続き、よろしくお願いいたします。

竹中・岩田地崎・田中建設共同企業体  
(仮称) エア・ウォーターの森計画

TEL : FAX :  
Mobile:080-  
E-mail: @takenaka.co.jp

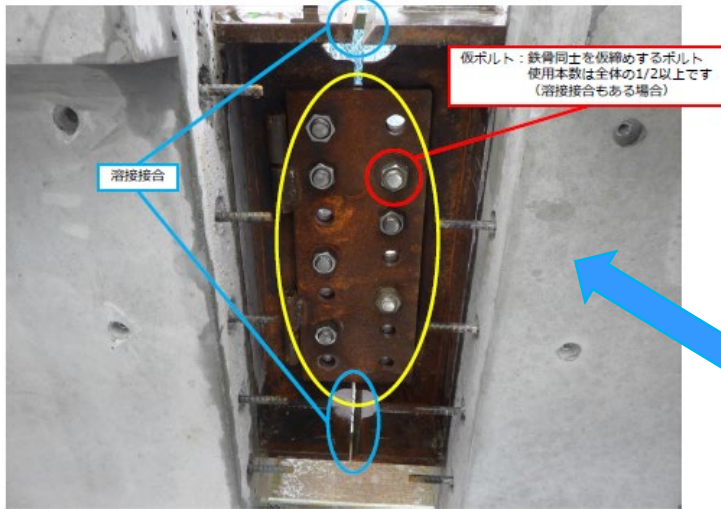
## 12. 具体的なメール配信内容の例(技術的なこと①)

鉄骨ハイテンションボルト  
接合の解説

1回分の配信は、読み手の  
負担を考え、A4サイズ  
2~3ページ程度

誤った内容は配信できない  
ため、**事前に対象を調べる**

建築の知識がない人にも  
**わかりやすい表現**にする  
(本来はピンテールと表記  
したい)



2024.1.29 PCユニット同士をボルトで接合します。写真は仮ボルトを入れている状態です。



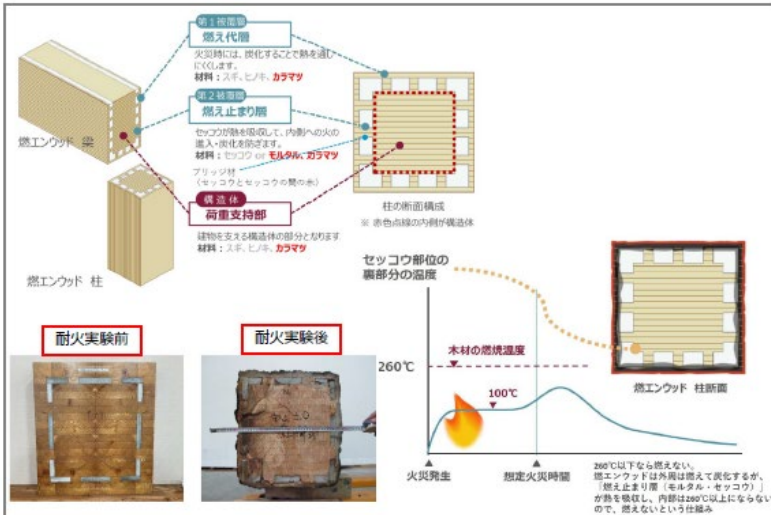
2024.1.29 トルシア形高力ボルトという特殊なボルトを使用します。

# 13. 具体的なメール配信内容の例(技術的なこと②)

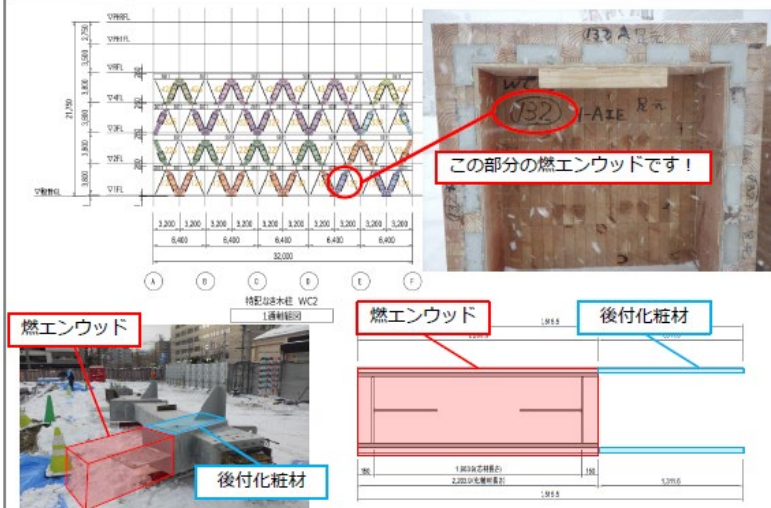
技術的な内容も  
分かりやすく解説

伝える工夫

知識の整理やまとめに  
つながる



2024.1.8 燃エンウッドの構成と仕組みです。



2024.1.8 性能と寸法は一緒ですが、後から貼る化粧材と木目を合わせるために番号付けをしています

## 14. 具体的なメール配信内容の例(行事:安全祈願)



武田所長による玉串奉奠(たまぐしほうてん)

2024.1.9 三吉神社にて新年祈願のお参りを行いました。

新年初めに、**神社**で  
工事の**安全**を祈願

建設のプロセスにおいて、  
**現場以外**でも、様々なこと  
を行っている。



2024.1.9 作業所の1年間の安全を祈願しました。

建築主(お客様)に、**建設**  
**業**についての、**理解**を深め  
てもらう事も重要なテーマ



# 15. 具体的なメール配信内容の例(建築主を巻き込む)



11月9日 上海の金属加工工場「江蘇鑫豐源裝飾材料有限公司」へ製品検査に行ってきました。



11月9日 中国工場の質の高さとポテンシャルの高さを肌身で感じました。「合格」です！

← **建築主と一緒に**  
中国へ製品検査

製品検査を通して、**建築主**  
と一緒に、ものづくりの  
一端を体共有

誠実なものづくりを見ても  
らい、**業界の理解促進**

最終的に製本した中に、  
**建築主が登場**していること  
で、価値向上

# 16. 具体的なメール配信内容の例(イベント)



2019.11.24 夫婦での初めての共同作業“ケーキ入刀”が行われました。[redacted]さんどちらも幸せそうで見ているこちら側もとても幸せな気持ちになりました。



2019.11.24 作業所・関係者みんなで記念撮影させていただきました。[redacted]さんとても幸せそうな笑顔ですね。

← 部下の結婚式

建設のプロセスの過程では、  
様々なことがある

期中多くの**ドラマ**が存在する

敢えて直接建設に関係しない  
事でも、**同じ目的を持った仲間ごと**として、**情報を共有**することで、**建築主との親近感**  
の醸成に寄与

## 17. 建築主との接点創出（建設の記録を媒体とした仕組み）

毎週、建設の記録を配信していると、竣工までには200ページ程度になる。

それを、最後に製本し、関係するすべての方に、「竣工記念品」として贈呈する。



過去の事例の一部抜粋

## 18. 建築主から直に返信をもらう

建築主からの返信の一例



UP !

ご報告ありがとうございます。  
社内でも鉄骨や鉄筋に関しましては情勢もあって  
シビアになっております。  
本来であれば当社も立ち合い検査を実施すべきかもしれ  
ませんが  
皆様のご報告をみて信頼関係の上、お任せしている分  
野でもございます。  
引き続き、完璧な作業、検査をお願い致します。

建築主

## 19. 得られる成果(社内幹部から直に返信をもらう)

### 役員からの返信の一例

忙しい中毎週レポート作成、提出おつかれさまでした。  
若手の教育にもとても良いし、**建築主に安心感を与えられ  
とても有効**だと思います。  
これからも、忙しいでしょうが、頑張って続けて下さい。  
素晴らしいプロジェクトの作り込みに参画した**所員の皆さん**  
に御礼申し上げます。

竹中工務店 ○○常務執行役員

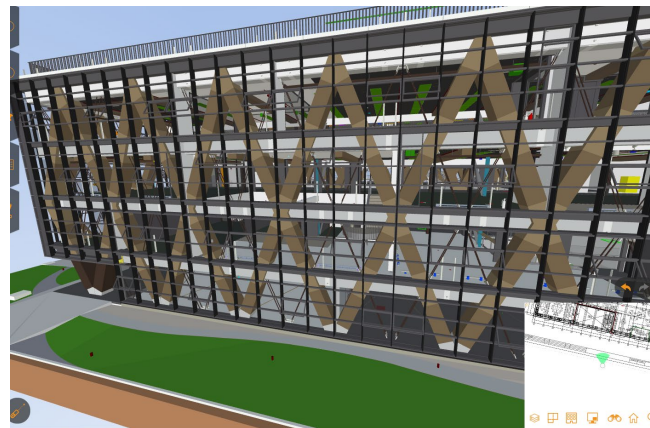
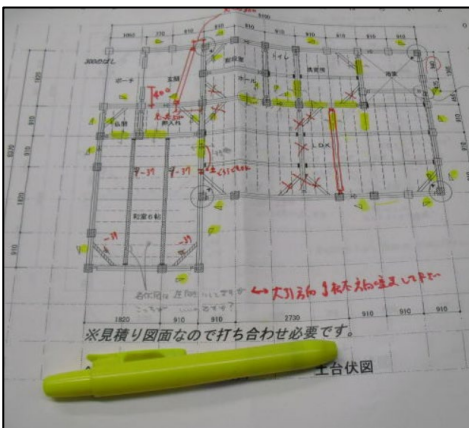
## 20. 得られる成果

- 建築主へ直接送ることによって、「**責任感・主体性・当事者意識**」が醸成される
- お客様目線で、送信する内容を「**吟味**」することを通して、様々な**配慮**や**気配り**を学ぶことが出来る
- 間違った内容は、送れない緊張感から、**対象を良く調べ、再度勉強**することで、確かな**知識向上**に寄与する
- 社内幹部との意思疎通を通し、自己認知度の向上、**社内ネットワーク**を広げることが出来る
- 建築主や社内幹部から**評価**されることで、**モチベーションの向上**

## 21. 仕組みづくり

# ② 図面の理解を通して、 現場を仕切る

ための仕組みを作る



## 22. 若手の現場員が図面を見る仕組み

若手の現場員が、現場での**プレゼンスを向上**させる為には。。。

職人さんに**頼られる存在**になる

そのためには、「**図面や納まりがわかっている**」ことは、武器になる

**現場員が主体**となり、**施工図・製作図**をまとめ、**最終的な承認**をとり、**納期管理**まで行う**仕組み**を作る



## 23. 若手に図面をチェックさせる仕組み

製作図一覧（担当者割り振り）

プロジェクト名：（仮称）エア・ウォーターの森計画

製作図種別	図面受領	担当者名		承認目標日 着手日
		作業所(主)(副)	協力会社	
鉄骨	鉄骨図 水素ボンベ庫・設備架台	未	加藤 今井	北榮興業
鉄骨階段	階段室1・2	済	今井	横森製作所
	インナーガーデン階段	済	今井	横森製作所
	インナーテラス階段	済	今井	横森製作所
外装仕上	AWカーテンウォール ACW	済	武田所長	YKK
	押出成形セメント板	済	今井 関	クワザワ
	金属パネル (軒天など)	済	武田所長 加藤	郷葉
	配管取り出し口パネル	済	関 今井	アート工業

経験が無い、若手には

トイレブースやメールBOXなど、  
工程的にもゆとりがあり、  
取り組みやすい製作図から  
始める

ベテラン

内装仕上

膳板・幕板	未	関	
床目地樫	未	澤田 加藤	
階段ノンスリップ	未	澤田 加藤	
トイレブース	未	澤田	文化シャッター
ベビーシート類	未	武田所長	
水素ボンベ	未	加藤・山本 今井・山本	高島屋?
消火器BOX (納まり検討)	済	大石橋 加藤	郷葉
メールBOX (納まり検討)	済	大石橋 加藤	郷葉

若手

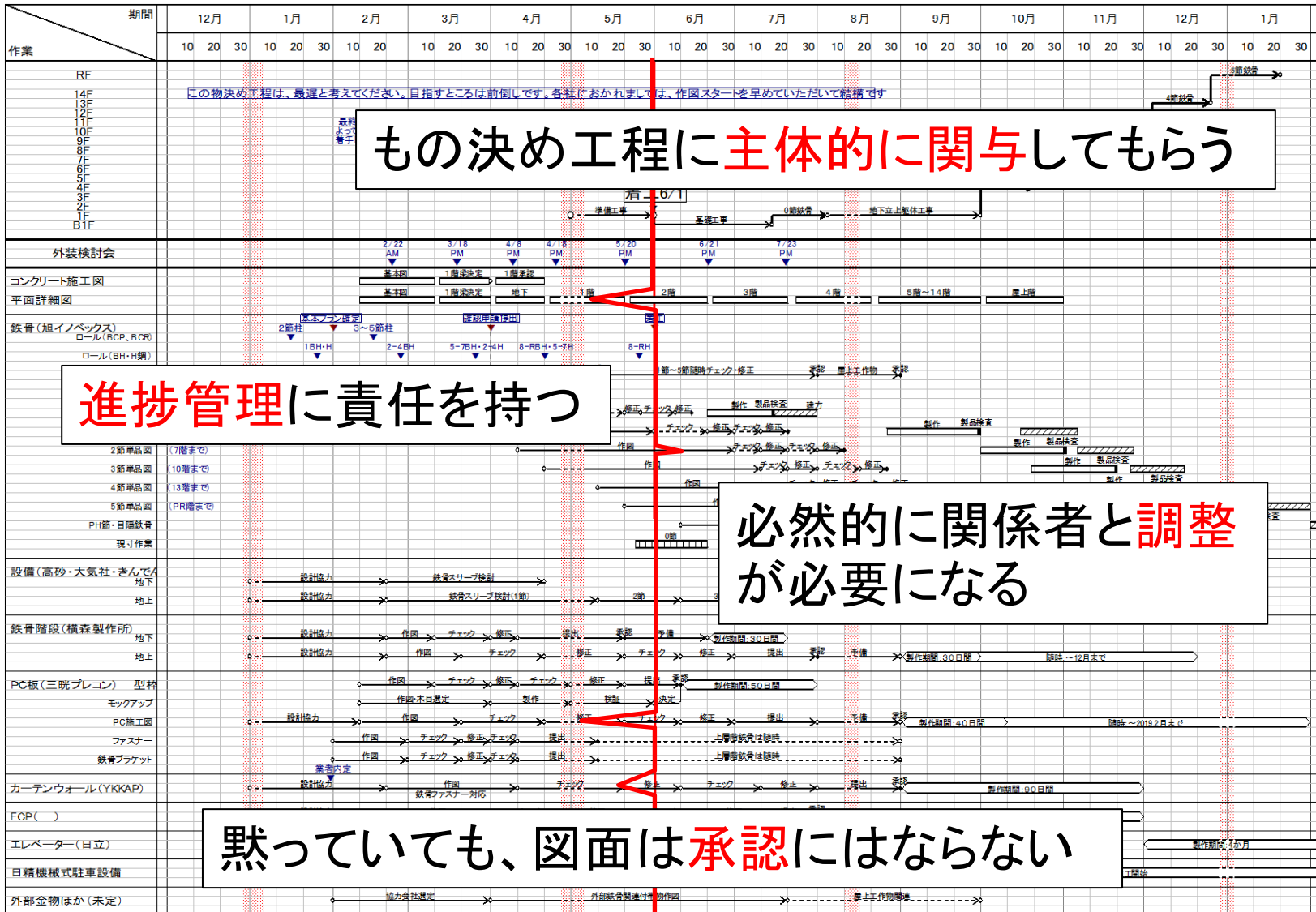
ベテラン

必ず、若手にベテランを  
サポート役として、ペアを組む

## 24. 若手はBIMを利用し、図面の理解が進む



# 25. 承認までのプロセスに責任を持たせる



## 26. 設計者を交えた納まり確認会を主導させる



立場の違いを超えて妥協点を見出す調整力を鍛える場

## 27. 製作図のチェックを通して、本当に大事なことは??

製作図のチェックを通して、**本当に大事なことは何か**  
感じてもらいたいことは何か

図面をチェックできるスキルの向上以上に、

**協力会社・設計・監理者・社内関係部門と調整をし、決められた期日までに承認を取ることが、いかに大変なことなのかを身をもって体感**することである

繁忙状態の協力会社にお願ひし、**必要な期日までに品物を現場に納品するためのフォローを体感**することである

普段誰かがやってくれていることが、**本当に大変なことだ**と感じてほしい

## 28. 調整能力(マネジメント)の訓練

承認を取るために、**誰がキーマン**か？  
承認を取るために、**誰がボトルネック**か？  
承認を取るために、**期限**が守られるのか？  
チェック修正が間に合うのか？  
**何回**、承認回覧すれば、承認になるのだろう  
協力会社の**製作期間**が、浸食されはじめた  
**早く承認**もらわないと、現場が遅れる  
**焦る気持ち**、責任感、自分だけではどうにもならない第三者



様々な**葛藤を経験**することこそが、人を見る目、人や協力会社の特性に応じた先手の打ち方、対応方法など、バランスの取れた**調整能力**の育成につながる

## 29. 現場での立ち位置が上昇

図面を制する者が現場を制す！

職人に頼られる存在

納まらない時の対処  
方法がわかってくる

現場での自分の  
プレゼンス向上

自分の思い通りに  
現場を動かしやすいくなる

**結果、楽しくなる！**



## 30. まとめ

今回、2つの仕組みを通して、若手が「やりがい」をもって、楽しく仕事ができる取り組みを紹介させていただきました。

いずれも、特別なソフトや機材が必要なわけではなく、誰でも、いつでも、簡単に始めることが出来る取り組みだと思えます。

BIMやICT、ロボテクスなど、様々なツールが生産性の向上に寄与するようになってきました。

そんな中で、非常にローテクな取り組みの紹介で恐縮しております。

これからも、建設業の明るい未来のために、若者に希望を持ってもらえる業界になれるよう皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。



## 31. 終わり

# THE END

ご清聴ありがとうございました